

長崎市こども相談センターだより 第6号

和顔愛語【穏やかな笑顔と思いやりのある
（わけんあいご） 話し方で人に接すること】

令和7年3月発行



長崎市魚の町4番1号（こどもみらい課内 電話：825-1949）

こども相談センター相談専用ダイヤル：829-1122

Eメール kodomosoudan_center@city.nagasaki.lg.jp

愛の一声運動

こども相談センターについての理解を深めた市補協冬季全体研修会



長崎市少年補導委員協議会の冬季全体研修会を1月25日（土）に市役所多目的スペースで開催しました。今年度から、夏季研修会を地区別や校区別での開催としたこともあり、少年補導委員全員が一堂に会して行う唯一の研修会でした。前半は、こども相談センター職員が講師となり、『**こども相談センターの役割と少年補導委員の未来について**』というテーマで講演を行いました。“少年センター”が『こども相談センター』という名称に変更になった目的や目指しているところについて、これまで行ってきた業務の実績、いじめや不登校、ヤングケアラーなどの現状とともに、名称変更によって重点化された『**相談支援活動**』についての説明を行いました。新たに配属された**社会福祉士や臨床心理士の役割**についても理解を深めてもらいました。後半は5～6名の班に分かれて『**今、少年補導委員に求められるもの**』というテーマでグループ協議を行いました。他校区の補導委員との意見交換ができ、有意義な研修会でした。



冬季全体研修会振り返りシートより（抜粋）

※一部、表現等を変更している部分があります。

○開催時期、時間帯について

- ・今回の 18:00 開始時刻でよい…37/44
- ・時期や時間帯を変えて欲しい…7/44
- ・休日なら少し早くても（14:00 や 15:00）
- ・インフルやコロナの流行しない時期がよい
- ・土日の研修会は避けて欲しい

○今回の研修会に参加して

- ・とてもよかった…37/44
- ・まあまあよかった…7/44
- ・あまりよくなかった…0/44

○講演についての感想

- ・こども相談センターの活動内容を説明してもらい、センターの仕組みがわかってよかった（多数）
- ・所長のお話にとっても感動した 「大人の考え方の枠を広げる」ことをこれまで以上に実践していきたい
- ・補導委員の役割が以前より多岐にわたり、複雑でデリケートになってきていることがわかった
- ・補導委員のスキルを高めていく必要性を感じた（ただ巡回するだけではだめだということ）
- ・子どもたち一人一人が育つ環境や個々の性格などが違うので、枠にはめない考え方が必要だと思った
- ・挨拶が犯罪の抑止になるという話が印象に残った
- ・提出した補導報告書を紹介していただき、本当にうれしく、活動をやっていたよかったと思った
- ・声かけ（見せる補導）が抑止力になるという、私たちの活動の重要性を改めて認識した
- ・絵本の紹介がとてもよかった 感動した（多数）
- ・こども相談センターが設置されたことによって、相談件数が増えたことはとてもいいことだと思った
- ・所長の子どもたちを守りたいとの思いが伝わった
- ・具体的な相談内容を話してもらって役に立った

○グループ協議についての感想

- ・グループ協議では他の地区の方と話ができて、それぞれの現状を知ることができてよかった（多数）
- ・同じグループの方々が頑張っている様子がわかったので、自分も頑張らないといけないと思った
- ・さまざまな立場の方と話ができてよかった
- ・どの地区や校区も抱えている課題は同じだと思った
- ・学校関係者と一緒に回っている校区の方の話を聞き自分の地区も先生方を巻き込んでいきたいと思った

○ご感想やご意見、研修についてのご提案など

- ・子どもたちとのコミュニケーションをとる場面がもっと増えればよいと思った
 - ・日頃行っている相談業務でもヤングケアラーについては課題があると考えているので、社会福祉協議会とも連携をお願いしたい
 - ・深く子どもとかわかることが許される役割なので、心を開いてくれるような会話を心がけたい
 - ・子どもたちの置かれた環境（デジタル社会、地域とのつながりの希薄）が昔と違うのでいろいろ大変だ
 - ・巡回していて、中学生と高校生の区別が難しい
 - ・補導活動時以外の普段から子どもたちを見ていきたいと思った
 - ・少年補導委員の役目を知りたい 声かけだけでよいのかと思う
 - ・相談支援につながるような活動を自分たちがどこまでできるのかと思う
 - ・少年補導委員の名称を「こども相談委員」にしてはどうかと思った
 - ・グループ協議の時間がもう少し欲しかった
 - ・今回の研修会では、少年補導委員が何をしたらよいかをもっと具体的に教えて欲しかった
 - ・地域の状況によって違いがあるので、同じ状況を抱える地域の補導委員との情報交換が必要だと感じた
 - ・外部講師（例えば医師など）の講話も聞いてみたい
 - ・自家用車で巡回するときのための車に貼る少年補導委員とわかるような「ステッカー」が欲しい
 - ・こども相談センターの相談カードのデータが欲しい
- ※貴重なご意見やご提案、ありがとうございました。ご要望事項については、今後検討していきます。

3月の報告書の提出は 3/28 必着

年度末の補導報告書は、3月28日午前中までにセンターに届いていないと処理できません。折角の活動が実績として残らなくなってしまうので、**締切日前までの提出にご協力**をよろしくお願いします。

	R 6年度活動状況（4月～1月報告分）								活動実績…活動延人数			予定回数…補導委員総数×2（特別は×1）			夏季	くんち	年末始	総計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	小計	11月	12月	1月				
活動実績	274	275	269	258	213	271	234	255	234	241	2524	105	110	99	2838			
予定回数	354	354	356	356	356	356	356	356	356	356	3556	178	178	178	4090			
活動実施率	77.4%	77.7%	75.6%	72.5%	59.8%	76.1%	65.7%	71.6%	65.7%	67.7%	71.0%	59.0%	61.8%	55.6%	69.4%			

4月～1月までの声かけ状況

4～1月集計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
1 飲酒	0	0	0	2	2
2 喫煙	0	0	0	0	0
①交通違反	8	0	9	7	24
③危険な遊び	19	0	6	0	25
④外出時間注意	35	54	58	0	147
⑥買い食い	0	0	1	0	1
⑦盛場徘徊	2	11	4	0	17
⑧ゲームセンター	63	87	38	18	206
⑨男女交際	0	4	22	0	26
⑩『愛の一声』	3537	1526	467	61	5591
合計	3664	1682	605	88	6039

☆☆☆☆トピックス☆☆☆☆ Vファーレン長崎の選手、スタッフが表敬訪問で市役所を訪れました



《編集後記》 昨年度に引き続き本年度もセンターだよりを担当しました。紙面のマンネリ化がないように心がけてきたつもりでしたが、どうしても同じような内容の記事になってしまい、反省しているところです。次年度は発行時期や回数を見直してみたいと考えています。（山鹿）